

平成25年度 社団法人 岐阜県臨床検査技師会
第1回定期総会議事録

1. 開催日時

平成25年6月16日（日）14:45～16:30

2. 開催場所

岐阜大学医学部記念会館 2階ホール

〒500-1194 岐阜市柳戸1番1

3. 出席正会員数および委任状数（14:00 現在）

正会員総数 743 名に対し、662 名（出席正会員 48 名、委任状 614 名）

4. 議案

（1）第一号議案 平成24年度 事業報告について

（2）第二号議案 平成24年度 決算報告について

（3）第三号議案 平成24年度 監査報告について

（4）第四号議案 規定について

5. 進行

- | | | |
|---------|------|-----|
| 1) 司会者 | 西山紀郎 | 理事 |
| 2) 開会の辞 | 永井正信 | 副会長 |
| 3) 会長挨拶 | 北村 颯 | 会長 |

4) 議長の選出

議事に入る前に出席者に対して議長立候補の有無について確認したが立候補者はいなかった。その為、議長の選出について選出方法を募った。

会場内より司会者一任の声があり、司会者は議長として次の2名を指名した。

拍手による承認を求めた結果、賛成多数で承認を得た。

議 長	岐阜市民病院	横山 裕子 先生
	岐阜大学医学部附属病院	大瀧 博文 先生

5) 総会役員の選出

総会役員の選出方法を募ったところ、会場内より議長一任の声があがり、議長は書記2名、資格審査委員6名、議事録署名人2名を指名して会員の了承を求めた。

その結果、満場一致の承認を得た。

総会役員は以下の通りとなった。

書	記	糸山 里美
		酒井 雄一郎
資格審査委員		
岐阜地区		太田 義和
		深川 富法
西濃地区		川島 直樹
飛騨地区		黒木 泰則
中濃地区		池田 幸裕
東濃地区		神谷 明男
議事録署名人		諏訪 浩
		篠ヶ瀬 仲子

7) 資格審査委員報告

資格審査委員の黒木泰則委員より総会出席者および委任状提出会員の資格審査報告がなされた。14時20分現在、本総会への出席正会員数は48名。委任状提出者は614名であわせて662名となり5月7日現在、正会員数が743名であることから、過半数以上となり、定款第23条により本総会が成立することが報告された。

これより議長は本総会の成立を宣言し、議案審議に入ることにした。

8) 議案審議

議案書に基づいて審議を行った。

第一号議案、第二号議案、第三号議案を横山議長が、第四号議案を大瀧議長が担当した。

【第一号議案】平成23年度事業報告について

【議長・横山】

- ・第一号議案 平成24年度事業報告について説明を求めた。

○事業報告

北村会長より説明がなされた。

- ・事業計画に基づき実施されてきたが、特に大きな問題は無かった。

- ・第61回日本医学検査学会が津市（三重県主催）で行われた。
- ・第51回日臨技中部圏支部医学検査学会が多治見市（岐阜県担当）で行われた。
- ・岐阜県臨床検査技師会60周年記念式典を開催。
- ・精度管理調査事業は県内161施設に発送、72施設の参加であった。
- ・プール血清の作製に関しては岐阜市民病院のスタッフの皆様の多大なる協力があった。
- ・中部圏支部学会、60周年記念特別事業もあり、支出が多くあった。
- ・資料館の清掃及び展示品の調査は本年度は実施できなかった。
- ・ホームページは日臨技ホームページとのリンク及び関連情報を掲載した。携帯ホームページは、スマートフォン対応、岐臨技ブログの開設、グループウェブの試験運用に実施の準備をした。
- ・以上、主な事業について提示した。詳細については書く部長より報告する。

【議長】

- ・それでは、各部門の報告をお願いします。

○平成23年度学術部事業報告

近藤部長より説明がなされた。

1. 各種学会

1) (社) 日本臨床衛生検査技師会

(1) 第61回日本医学検査学会は、三重県にて開催。

岐阜県からは一般演題座長4名（微生物・心臓超音波・臨床化学・情報システム）
パネリスト2名を推薦。

(2) 演題数 約600演題

期 間：平成24年6月9日（土）～6月10日（日）

開催地：三重県総合文化センター

2) 中部地区臨床衛生検査技師会

(1) 第51回中部圏支部医学検査学会は、岐阜県多治見市にて開催。

期 間：平成24年11月3日（土）～4日（日）

開催地：多治見市 セラミックパーク MINO

メインシンポジウム：「医療に根ざす心の伝達」を岐阜県が担当。

座長 岐阜県より9名選出。（パネリスト2名）

演題数 154題

3) (社) 岐阜県臨床検査技師会

第51回岐阜県医学検査学会

担当：岐阜地区

学会日：平成 24 年 3 月 24 日（日）

場所：ふれあい福寿会館

演題数：13 題

2. 総会・拡大研修会

1) 平成 24 年度（社）岐阜県臨床検査技師会 第 1 回定期総会

担当：西濃地区

日時：平成 24 年 5 月 27 日（日）

場所：大垣市 大垣市情報工房 5 階 スイंकホール

内容：平成 23 年度事業報告 平成 23 年度決算・監査報告

2) 平成 24 年度（社）岐阜県臨床検査技師会 第 2 回定期総会

担当：岐阜地区

日時：平成 25 年 3 月 24 日（日）

場所：ふれあい福寿会館

内容：平成 25 年度予算案・平成 25 年度活動計画・定款変更について

3) 春季拡大研修会

担当：西濃地区

日時：平成 23 年 5 月 27 日（日）

場所：岐阜市 大垣市情報工房 5 階 スイंकホール

内容：NST における亜鉛の有用性～亜鉛補充による食欲不振、褥瘡、味覚障害、術後
予後の改善 日暮 和彦 先生
当院における ICT 活動の実際 石野 美也子 先生
臨床薬剤師から見た院内感染対策とは 坂東 達也 先生

4) 秋季拡大研修会

担当：中濃地区

日時：平成 24 年 11 月 25 日（日）

場所：日本まん真ん中センター

内容：虫の話 鈴木 和人 先生
この検査が心病変を的確に捉えている 増えている大動脈狭窄
高橋 秀一 先生

3. 部門別研究班研修会

1) 病理・細胞研究班 年 6 回。

- | | |
|-------------------|--------|
| 2) 微生物研究班 | 年 4 回。 |
| 3) 生理検査研究班 | 年 5 回。 |
| 4) 一般検査研究班 | 年 7 回。 |
| 5) 臨床化学・免疫血清検査研究班 | 年 4 回。 |
| 6) 血液検査研究班 | 年 5 回。 |
| 7) 輸血検査研究班 | 年 6 回。 |
| 8) 情報システム研究班 | 年 1 回。 |

4. 日臨技委託事業

- ・臨床化学・免疫血清検査研究班研修会が岐阜大医学部附属病院で開催。

5. 関連研修・講習会

- ・年 3 回各地区に分かれて、ガン検診従事者資質向上講習会が開催された。

6. その他

- ・平成 24 年度岐阜県病院協会医学会

7. 論文推薦について

- ・「医学検査」は毎年 10 月末日までに、「岐臨技」会誌は毎年 1 月末日までに事務所へ提出。

8. 学術誌発行について

- ・平成 24 年 3 月発行（毎年 3 月）8 論文
 - （1）学術誌投稿規程は、医学検査に準ずる。
 - （2）査読委員の選出は、班長会議及び専門委員。
 - （3）編集発行は、年度末とする。

○平成 23 年度精度保障事業部事業報告

多和田部長より説明がなされた。

平成 24 年 5 月 12 日 日臨技データ標準化事業・都道府県用精度管理システム説明会

6 月 29 日 第 1 回会議 年間スケジュール決定

7 月 20 日 参加案内発送

7 月 23 日～8 月 5 日 Web 受付 72 施設参加登録

9 月 16 日 第 2 回会議 資料配布にむけた最終チェック

9 月 30 日 資料発送作業

10 月 1 日～10 月 14 日 Web 回答

10 月 20 日 施設認証の申請案内発送

12 月 2 日 回答作業中での問題点、評価・報告書レイアウトの決定 2 次サーベイ、報告会の詳細決定

12月11日 施設別報告 Web 公開 順次施設に成績書発送
平成25年 1月27日 精度管理報告会 東海中央病院
3月下旬 施設認証申請 14施設すべて日臨技で承認

○平成24年度組織調査部事業報告

臼井部長より説明がなされた。

1. 啓発及び保健衛生事業

(1) 市民健康まつり

やさか福祉健康まつり（中津川市）、高山市健康まつり（高山市）、大垣市市民の健康広場（大垣市）、岐阜市健康まつり（岐阜市）の4地区の健康まつりに参加。

(2) STI 予防啓発に関する事業

①レッドリボンフラグ作成

②大学祭での啓蒙活動（岐阜医療科学大学・岐阜経済大学）

③MSM 対象無料 HIV 検査会参加

2. 役員選挙規定の作成

3. 平成24年度功労者対象者選出

○平成24年度広報宣伝部事業報告

木村部長より説明がなされた。

岐臨技会報は、年3回発行した。会報を1施設に1部、毎月の定期便にて配布した。

岐臨技ホームページに PDF 形式（カラー）にて掲載した。

原稿が掲載された方には謝礼として 500 円分の図書カードを贈呈した。

60周年記念誌 10月：記念誌骨子・随想文の各地区振り分け・表題依頼について印刷会社見積り 12月：60周年記念式典の来賓の方の祝辞掲載の承認・表題「発展」宮島日臨技会長（直筆）に決定 2月：目次の確認と随想文依頼者の承認

○平成24年度法人対応部事業報告

鈴木部長より説明がなされた。

一般社団法人への移行認可スケジュールについて

- 1) ホームページ上にて、必要な書類等の確認・仮入力（担当者のもとへ、北村、鈴木、兼子の3名で訪問、内容確認を依頼。表現法等の指摘があり、担当者と確認中。問題点も残り4点となった。
- 2) 平成24年度第1回定期総会にて平成23年度の決算承認（承認済み）
- 3) 平成24年度第1回定期総会にて諸規定の報告。
- 4) 県へ書類を揃えて、法人として申請・・・平成24年9月以降

平成 25 年度第 1 回定期総会にて、平成 24 年度の決算承認が得られたのち、ホームページ上にて必要な書類を入力し、登記の問題が解決次第申請。

9) 認可が下りれば、登記後、臨時総会（一般社団法人としての第 1 回総会）を開催

○平成 24 年度庶務部事業報告

西山部長より説明がなされた。

1. 庶務部および事務員の業務状況について

1) 各研修会案内等を発送（原則毎月 20 日）。 2) 各委員会の案内送付（電子メールにて運用）。 3) 事務所で行う会議予定の管理（必要に応じて会議資料の準備、弁当の手配）。 4) 日臨技、各種団体からの問い合わせの対応（必要に応じて会長・各理事へ通知）。 5) 日臨技、各種団体からの文書管理。 6) 会員名簿の発行。 7) 定期総会の議案書作成および印刷。 8) 各種会議および総会の議事録を作成した。 9) 会費管理に対する対応、文書配布。 10) 各地区で開催された健康まつりに関して、申請書類などの対応を行った。 11) 各地区総会の開催案内を送付した。 12) コスタ岐阜県庁前マンション管理組合総会出席。

2. 事務所の使用状況について

1) 岐臨技役員主催による会議等（70 回）

理事会、常務理事会、精度管理会議、春季拡大研修会・第 1 回定期総会打ち合わせ健康まつり打ち合わせ等で利用された。

2) 一般会員の使用状況について

一般会員の使用はありませんでした。

3. 事務所のカギ管理状況について

平成 24 年 4 月 1 日より平成 25 年 3 月 31 日の期間において、カギ（7 本および予備 1 本）の管理状況は紛失などの届出は無く適正に管理されていた。

4. 理事会・常務理事会

理事会は臨時理事会を含め 7 回開催。

常務理事会は 1 回を臨時理事会としたため 5 回開催。

5. 文書発送一覧について

文書発送は別表参照。

【第二号議案】平成 24 年度決算報告について

【議長・横山】

・第二号議案 平成 24 年度決算報告について説明をもとめた。

○平成 24 年度決算報告

兼子会計部長より説明があった。

1) 不明金について：平成24年度決算において、領収書・レシートなどを集計した計算上そうなるべき残高と、実際の残高に差異が生じ、現金が28,086円不足となった。会計監査において、監事には事情を説明し、厳重注意の上、承認を頂いた。収支決算書と正味財産増減計算書の経常費用の①事業費の「雑費」に計上した。

2) 予算変更について：平成24年度予算に「60周年記念」事業の製本費（60周年記念誌）375,000円を計上しましたが、平成25年度へ繰り延べとなりました。

3) 平成24年度決算について：経常収益の「②事業収入」の決算額が予算額より増加してるのは主に、中部圏支部学会に多くの参加があったことと、協賛・広告料によるものです。経常収益の「④雑収入」の増加は60周年記念式典のご祝儀によるものです。経常費用の「①事業費」の増加も主に中部圏支部学会・60周年記念事業によるものです。事務員の作業増加や消耗品の増加など間接的な影響も発生した。経常費用の「②管理費」の増加のうち、旅費交通費の増加は、中部圏支部学会に伴い、臨時理事会を開催したこと、中部圏支部学会の実行委員、実務委員の出席を仰いだことによるものです。製本費の増加は、議案書の製本が思いのほか高額であったことです。

4) 中部圏支部学会決算について：日臨技へ1,766,817円返金し、学会収支差額0円となっています。会計期間は第1回実務委員の開催された平成23年6月から、日臨技に返金し収支が完了した平成25年4月までです。

正味財産計算書、貸借対照表、財産目録、残高証明書については、確認しておいて下さい。

【議長・横山】

第1号議案および第2号議案について審議を求めた。会場より意見・質問等はなかったため、採決にはいった。賛成の方に挙手を求めた。全会一致で第1号議案・第2号議案は承認された。

【第三号議案】平成23年度監査報告について

【議長・横山】

- ・平成24年度監査報告について説明を求めた。

○平成24年度監査報告について

渡辺・牛丸両監事より報告があった。

監査方法の概要

理事会に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査した。また、事業報告並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類の監査を実施した。

監査結果

1. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。
3. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類の記録と合致しているもの
と認めます。
4. 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと
認めます。

【議長・横山】

第三号議案について審議を求めた。会場より意見・質問等はなかったため、採決に入った。
賛成の方に挙手を求めた。全会一致にて、第三号議案は承認された。

議長交代

【第四号議案】 規定について

【議長・大瀧】

規定について説明を求めた。

鈴木部長より、選挙管理規定以外の規程の説明があった。

会員の皆様に規定の確認をお願いしたく、議案にのせた。大きく変更のあったところは選挙規定ですので、後ほど、作成した臼井組織調査部長より説明がある。大きく変更があったところは、研究班の再編で、近藤学術部長にお願いし、班長会議にて承認していただき、臨床化学と免疫血清・病理細胞が合同で1つの研究班に、また、遺伝子と情報システムの2つの研究班を削除しました。(第13条 2) あくまでも現時点では案であるので皆様で確認の上、おかしなところ、意見等がありましたら、言っていただければいいですし、後日しっかりみていただいて、何かありましたら、直接、鈴木部長へ連絡していただけたらと思います。最終的には一般社団法人へ移行してから使用するものでありますので、それまでに連絡していただければいいですし、それ以降であっても、規定は理事会で変更し、総会決定で変更できますので、しっかりと確認をお願いします。本日は案を皆様にしっかりと確認して頂く目的で、議案に載せた。しっかりと確認をお願いします。

臼井部長より、選挙管理規定について説明があった。

平成23年の定款・規定に基づいて作成した。大きく役員の選出方法が変わっているので、そのへんのところをよく確認していただきたい。今までは、選挙管理委員会という組織がなかったが、移行にあたり、必要であるため、あらたに組織した。立候補がない場合は、役員推薦委員と選挙管理委員により行う。あくまでもこれも案であるため、しっかりと確

認の上、臼井部長へ申し出て欲しい。定款の変更はできないが、規定の方は変更可能ですので、皆様のご意見をお待ちしております。

【議長・大瀧】

第四号議案について審議を求めた。会場より意見・質問等はなかったため、採決に入った。賛成の方に挙手を求めた。全会一致にて、第四号議案は承認された。

以上で、議案のすべてを原案通り可決いたしました。

【議長・大瀧】

折角の機会ですので、技師会に対して、意見・要望等がありましたら、この場で発言をお願いします。何かございませんか？との問いかけに、会場より意見等は出なかった。

【議長】

以上をもちまして、本総会の議事を全て終了いたします。これをもちまして総会役員を解任いたします。また、議長の任を解かさせていただきます。

9) 閉会の辞 石郷潮美 副会長

議長 _____ 印

議長 _____ 印

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印